

平瀬 達哉（大学院保健福祉学研究科兼務）

2 学術論文

- 1) Hirase T, Inokuchi S, Koshikawa S, Shimada H, Okita M. (2022). Preventive effect of an intervention program with increased physical activity on the development of musculoskeletal pain in community-dwelling older adults: a randomized controlled trial. *Pain Med*, Nov 2;pnac164. doi: 10.1093/pm/pnac164. Online ahead of print.
- 2) Honda H, Ashizawa R, Take K, Hirase T, Arizono S, Yoshimoto Y. (2022). Effects of chronic pain on the occurrence of falls in older adults with disabilities: a prospective cohort study. *Physiother Theory Pract*, Nov 6:1-9. doi: 10.1080/09593985.2022.2141597. Online ahead of print.
- 3) Kataoka H, Hirase T, Goto K, Nomoto Y, Kondo Y, Nakagawa K, Yamashita J, Morita K, Honda Y, Sakamoto J, Okita M. (2023). Effects of a rehabilitation program combined with pain management that targets pain perception and activity avoidance in older people with acute vertebral compression fractures: a randomized controlled trial. *Pain Res Manag*, 1383897, 1383897.

4 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 一般社団法人 日本ペインリハビリテーション学会 理事
- 2) 一般社団法人 日本ペインリハビリテーション学会 倫理委員会委員長
- 3) 一般社団法人 日本理学療法学会連合 編集委員会査読委員

5 社会貢献

- 1) オープンキャンパスでの学生相談

6 講演，放送

- 1) 令和4年度横須賀市市民大学での講演
テーマ：「骨折予防対策としての運動の重要性」
日時：2022年9月6日
- 2) 令和4年度横須賀・三浦ブロックゆめクラブでの講演
テーマ：「高齢期における転倒とその予防対策」
日時：2022年10月25日

7 学会等での活動

- 1) 平瀬達哉. 高齢者における疼痛の特性とその介入戦略の実際. 第26回日本ペインリハビリテーション学会学術大会シンポジウム「ロコモ・サルコペニア・フレイル疼痛への挑戦」, 神戸, 2022年6月12日.
- 2) 平瀬達哉, 越川翔太, 島田陽向, 井口 茂, 沖田 実. 高齢者に対する身体活動促進プログラムは運動器疼痛の新規発生の予防に効果的か?—ランダム化比較試験による効果検証—. 第26回日本ペインリハビリテーション学会学術大会, 神戸, 2022年6月12日.
- 3) 平瀬達哉, 越川翔太, 島田陽向, 井口 茂, 沖田 実. 高齢者に対する身体活動促進プロ

グラムは運動器疼痛の新規発生を予防するーランダム化比較試験による検証ー. 第9回日本予防理学療法学会学術大会, 東京, 2022年11月19日.

8 学内教育活動

- 1) 「日常生活活動学」における視聴覚教材の作成
- 2) 「日常生活活動学演習」における視聴覚教材の作成および演習指導
- 3) 「地域理学療法学」における視聴覚教材の作成
- 4) 「地域理学療法見学実習」における視聴覚教材の作成および実習前後学内セミナーの指導
- 5) 大学院博士前期課程「臨床理学療法学特論」における視聴覚教材の作成
- 6) 大学院博士前期課程「臨床理学療法学特論演習」における研究指導

9 学内各種委員会活動

- 1) 地域貢献部門委員
- 2) 学内実習ステーションワーキング委員

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 平瀬達哉. 高齢者の慢性疼痛対策としての予防重視型介入戦略の開発とその効果検証. 科学研究費補助金若手研究(課題番号: 19K19869). 研究代表者. 4,030,000円. 令和2年度～令和5年度